

学び合う段階（ペア・グループ）

「授業に取り入れる手立て」の実践例です。



(ア) 話し合う目的を明確にする。

話し合う目的（例）

- ① 考えの不備だったところが補われる。（考えを紹介し合う・分からないことを教え合う）
 - 「途中まででもいいので、自分の考えを隣の友達に伝えましょう。」
- ② 考えがより明らかになる・高まる。
 - （よりよい方法を選ぶ・似ているところ、違うところを見つける・新しい考えを見つける）
 - 「自分の考えと同じところ、違うところはないか話し合ってください。」
 - 「自分が考えていなかったことを見付けましょう。」

(イ) 相手意識をもった説明の仕方を示す。

単元名 角の大きさの表し方を考えよう（4 学年）



これは三角定規をどう使ったの？

二つの三角定規をこう重ねてね・・・

T: 「〇〇タイムで一つ説明するよ。みんないろいろな考えが出ているので、友達と一緒にかなとか違うかなとか考えながら聞けるといいですね。説明の時に、三角定規を動かしてもいいです。友達の考えを聞いて繰り返したり質問したりしてみましようね。そして、最後はサインをもらってください。」

目指した児童の姿

相手の考えを聞き、意見を伝えたり質問をしたりする姿。

(ウ) 相手の説明に質問をしたり、意見を言ったりする場を設定する。

単元名 広さを調べよう（4 学年）



なんでここに線を入れたの？

ここに線を入れたら、2つの長方形に分けられるからだよ。

自分のノートを隣の友達にまず見てもらい、見たら、必ず「なんで？」と質問するようにした。

目指した児童の姿

相手の考えを聞き、意見を伝えたり質問をしたりする姿。

単元名 倍数と約数（5 学年）



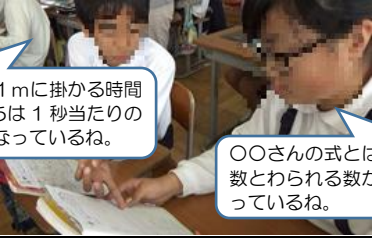
どうやったら、余りが出るとか出ないとか分かったの？

同じ大きさの正方形に分けていったらきれいに分けられたからだよ。


3人組での学び合いの際に、付け加えたり、質問したりすることを伝えてから話し合いに入った。

目指した児童の姿

相手の考えを聞き、意見を伝えたり質問をしたりする姿。

<p>単元名 速さ（6 学年）</p>	
 <p>こちらは1mに掛かる時間で、こちらは1秒当たりの道のりになっているね。</p> <p>〇〇さんの式とは、わる数とわられる数が逆になっているね。</p>	<p>隣の友達に自分の考えを伝え合った後、考え方が同じところ、違うところを見付けるようにした。</p> <p>目指した児童の姿</p> <p>相手の考えを聞き、意見を伝えたり質問をしたりする姿。</p>

(I) 話し合った後に、自分や相手の考え、表現の変容や高まりを振り返る場を設定する。

<p>単元名 分数のわり算（6 学年）</p>	
 <p>〇〇さんの考えっていいね。</p>	<p>ペアでの話し合いで、「新しく気付いた考えやよいと思った表現をノートに青ペンで書き加えましょう」と伝え、変容が分かるようにした。</p> <p>目指した児童の姿</p> <p>互いの考えや表現を比較したり、妥当性を検討したりして、よりよい考え方や表現の仕方などを話し合う姿。</p>